

カメラコントロール ボックス

取扱説明書



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告 安全のために

→ 15 ~ 16ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源を供給するケーブルに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

本機やACアダプターなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・
においがしたら
煙が出たら

- ① 電源を切る
- ② ACアダプターを
➡ コンセントから
はずす
- ③ 相談窓口に連絡する

裏表紙に相談窓口の連絡先があります。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠ 危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠ 警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠ 注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



スラグをコン
セントから抜く



指示

お使いになる前に必ずお読みください

- ・対応機種はWEBをご確認ください。
- ・本取扱説明書とあわせて、本機のヘルプガイド(12ページ)やお使いのカメラの取扱説明書もご確認ください。

本機の取り扱いについてのご注意

- ・本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。
- ・本機や付属品などは乳幼児の手の届く場所に置かないでください。付属品などを飲みこむ恐れがあります。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

本書中のデータについて

性能、仕様に関するデータは特に記載のある場合を除き、すべて常温(25°C)下でのものです。

LAN端子に接続する機器について

電気通信事業法に基づく認定品に接続してください。

ご注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをLAN端子に接続しないでください。
接続については説明書の指示に従ってください。

LANケーブルについて

LANケーブルは、シールド性能の高いカテゴリ-5e以上のSTP (Shielded Twisted Pair) ケーブルを使用してください。

ACアダプターについて

ACアダプターは、お手近なコンセントをお使いください。不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

意図せぬ第三者からのアクセスを防ぐための注意事項

使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者からアクセスされる可能性があります。本機のネットワーク接続は、お客様が管理されているネットワーク機器との間でのみ行い、その他のネットワーク機器には接続しないでください。その他のネットワーク機器との接続は、お客様の責任において行われるものとします。その場合、本機は不正にアクセスされ、通信内容が傍受される危険性があります。

本機の廃棄/譲渡/レンタル品返却についてのご注意

情報の漏えいを防ぐため、本機を廃棄・譲渡・レンタル品の返却をする前に以下の手順で「初期化」を行ってください。

- 1 本機とパソコンを接続する(10ページ)。
 - 2 本機とACアダプターを接続し、本機の電源を入れる(11ページ)。
 - 3 パソコンでウェブブラウザを起動し、「初期化」を実行する(12ページ)。
- ・初期化には時間がかかります。途中で本機の電源が切れないよう、安定した電源に接続してください。
 - ・本機のMASTER/CLIENTスイッチは、9ページの通りに設定してください。

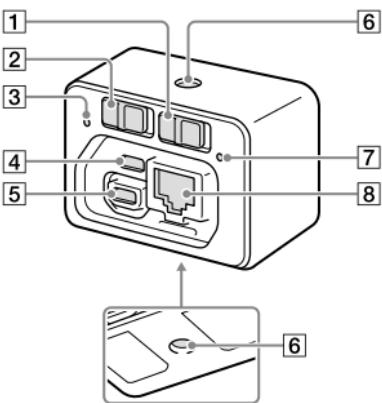
本体と付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

()内の数字は個数です。

- カメラコントロールボックス (1)
- マルチ端子接続ケーブル(S) (1)
- マルチ端子接続ケーブル(L) (1)
長さの異なる2本のマルチ端子接続ケーブルが付属しています。
- マイクロUSBケーブル (1)
- ACアダプター (1)
- ケーブルプロテクター (1)
- 印刷物一式

各部の名前を確認する



① ON/OFF (電源)スイッチ
本機の電源を入/切します。

**② MASTER/CLIENT
(マスター/クライアント)
スイッチ**

1台を「MASTER」に、それ以外を「CLIENT」にします。

③ アクセスランプ

④ マイクロUSB端子

本機とACアダプター(付属)を接続します。

⑤ マルチ端子

本機とカメラを接続します。

⑥ 三脚用ネジ穴

三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5mm未満の三脚を使います。ネジの長さが5.5mm以上の場合、本機を三脚にしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

⑦ 電源ランプ

⑧ LAN端子

本機とパソコンまたはスイッチングハブを接続します。

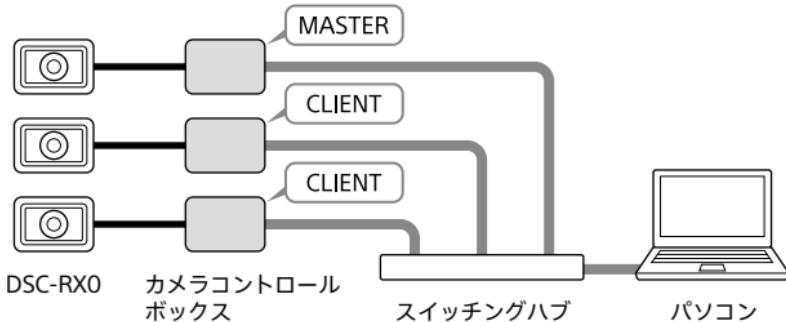
カメラやパソコンと接続する

本機をカメラとパソコンに接続することで、パソコンからカメラを操作できます。

下図のように接続することで、複数のカメラを1台のパソコンから同時に操作できます。

使用する本機(カメラコントロールボックス)のうち1台のMASTER/CLIENTスイッチを「MASTER」にします。それ以外は「CLIENT」に設定してください。

概念図



ご注意

- 本機に接続できるカメラは1台です。複数のカメラを使用する場合は、各カメラに1台ずつ本機を接続してください。
- 1000BASE-T規格のスイッチングハブとカテゴリー5e以上のLANケーブルのご使用をおすすめします。

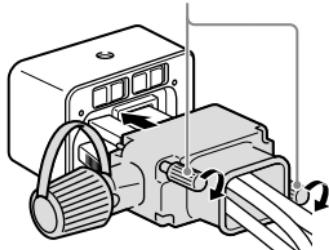
ケーブルプロテクターについて

ケーブルが抜けることを防止するために使用します。

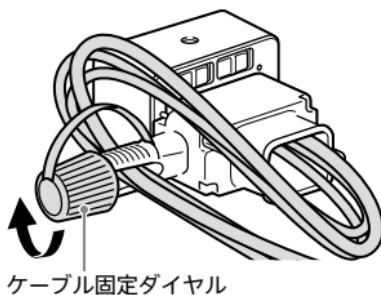
- ① ケーブルプロテクターにすべてのケーブルを通してから、本機にケーブルを接続する。

- ② 本機の端子面の形状に合うようケーブルプロテクターを取り付け、2つの取り付けスクリューで固定する。

取り付けスクリュー



- ③ ケーブルをケーブル固定ダイヤルで固定する。



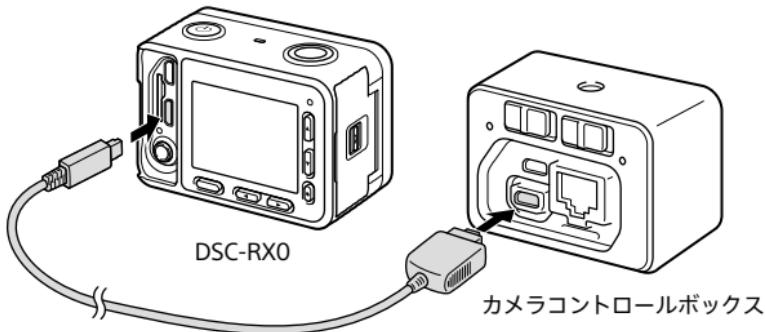
本機をカメラに接続する

本機とカメラを、マルチ端子接続ケーブル(付属)で接続します。

- カメラと接続する前に、カメラ側でMENU → (セットアップ) → [USB接続]を[PCリモート]に設定してください。
- カメラ側でMENU → (セットアップ) → [PCリモート設定] → [静止画の保存先]を[PC+カメラ本体]に設定してください。
- 接続するカメラにメモリーカードを入れて使用してください。
- カメラを長時間使用する場合は、カメラ側でMENU → (セットアップ) → [自動電源OFF温度]を[高]に設定することをおすすめします。

1 本機のマルチ端子とカメラのマルチ/マイクロUSB端子をマルチ端子接続ケーブル(付属)で接続する。

- 本機のマイクロUSB端子では接続できません。



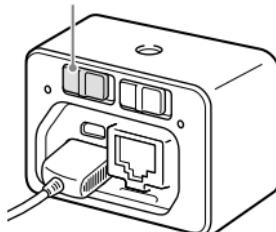
ヒント

- 長さの異なる2本のマルチ端子接続ケーブルが付属しています。設置環境に合わせてお使いください。

MASTER/CLIENT (マスター / クライアント)スイッチを設定する

1台のカメラを使う場合は、MASTER/CLIENTスイッチを「MASTER」に設定してください。
複数のカメラを使う場合は、1台を「MASTER」に設定し、それ以外を「CLIENT」に設定してください。

MASTER/CLIENTスイッチ



設定を変更するときは

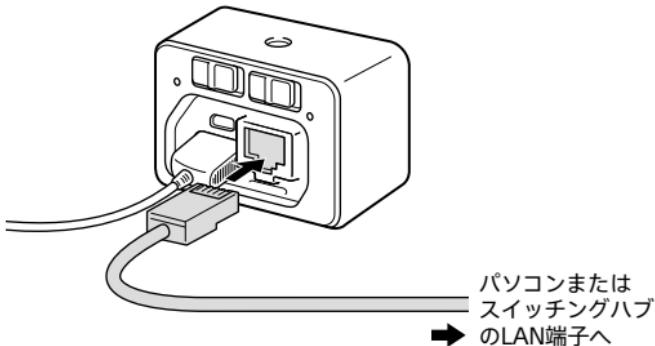
MASTER/CLIENTスイッチの設定を変更するときは、ON/OFF (電源)スイッチを「OFF」にして本機の電源を切ってから変更してください。

本機をパソコンまたはスイッティングハブに接続する

市販のLANケーブルを使って、本機をパソコンやスイッティングハブに接続します。

1 本機のLAN端子とパソコンまたはスイッティングハブのLAN端子をLANケーブルで接続する。

- 本機のマイクロUSB端子やマルチ端子では接続できません。



- 本機をスイッティングハブに接続する場合は、パソコンも同じネットワークに接続してください。

ご注意

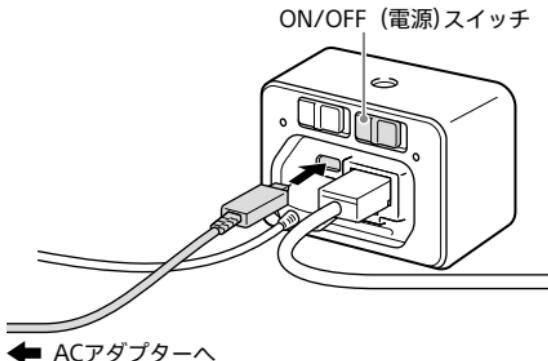
- 本機に接続するスイッティングハブは、ルーター機能のない機器またはルーター機能を無効とした機器をご使用ください。

本機の電源を入れる

ACアダプター（付属）を使って本機を電源に接続し、使用します。

1 本機のマイクロUSB端子とACアダプター（付属）のUSB端子をマイクロUSBケーブル（付属）で接続し、ACアダプターをコンセントに差し込む。

- 本機のマルチ端子にはACアダプターを接続しないでください。



2 本機のMASTER/CLIENT（マスター / クライアント）スイッチの設定が正しいか確認する（9ページ）。

3 ON/OFF（電源）スイッチを「ON」にする。

本機の電源が入り、電源ランプが点灯する。

- 電源ランプが点滅する場合は、ネットワークに正しく接続されていない可能性があります。詳しくは、13ページをご覧ください。

カメラをパソコンから操作する

カメラとパソコンを本機につないで、パソコンのウェブブラウザからカメラを操作できます。

パソコンの推奨環境は以下のURLよりご確認いただけます。

<https://www.sony.net/pcenv/>

1 パソコンでウェブブラウザを起動し、アドレス欄に下記のURLを入力する。

URL :

<http://169.254.200.200/>

- URLは本体底面にも記載されています。

ウェブブラウザに、カメラを操作するための画面が表示される。



2 カメラの電源を入れる。

- カメラのバッテリーが充分に充電されていることを確認してください。
- ウェブブラウザからの操作でカメラの電源を入れることもできます。

ウェブブラウザでのカメラの操作方法については、「ヘルプガイド」をご覧ください。



ヘルプガイド (Web取扱説明書)

<http://rd1.sony.net/help/dsc/1760/ja/>

故障かな？と思ったら

電源が入らない。

- ソニー製純正のACアダプター AC-UUD12/AC-UUE12をご確認ください。

電源が切れる。

- ソニー製純正のACアダプター AC-UUD12/AC-UUE12をご確認ください。

ウェブブラウザに、接続したカメラが表示されない。

- カメラの電源が入っていることを確認してください。
- カメラの[USB接続]が[PCリモート]に設定されていることを確認してください(8ページ)
- 本機のMASTER/CLIENTスイッチを確認してください(9ページ)。
- カメラのソフトウェアが最新であることを確認してください。詳しくは、カメラのサポートページをご覧ください。
- パソコンのネットワーク設定によっては、パソコンから本機に接続できない場合があります。パソコンのネットワーク設定で、自動構成スクリプトやプロキシサーバーの設定を無効にしてください。

カメラの電源が切れる。

- カメラのMENU →  (セットアップ) → [自動電源OFF温度]を[高]に設定すると、長い時間撮影することができる場合があります。

電源ランプが点滅する。

- MASTER/CLIENTスイッチが正しく設定されているか確認してください(9ページ)。

ご注意

- ご使用中に本機が熱くなりますが故障ではありません。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- ・異常に高温、低温、または多湿になる場所
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- ・直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- ・激しい振動のある場所
- ・強力な磁気のある場所
- ・砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起ころる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

保管方法

使用後に汚れた場合は、本機を清掃してください。水、砂、ほこり、塩分などが本機に残っていると、故障の原因になります。

海外へお持ちになる方へ

本機は100V-240Vのワールドワイド対応です。

本機を海外旅行者用の電子式変圧器(トラベルコンバーター)に接続しないでください。発熱や故障の原因となります。電源コンセントの形状は各国、各地さまざまですのでお出かけ前にご確認ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときは相談窓口にご相談ください(裏表紙)。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社は本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後5年間保有しています。ただし、故障の状況、その他の事情により、修理に代えて製品を交換する場合がありますので、ご了承ください。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。



火災

感電

下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切ってください。ACアダプターをコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。



禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見るることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。



禁止

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



禁止

指定以外のACアダプターを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



禁止

機器本体や付属品は、乳幼児の手の届く場所に置かない

付属品などを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

⚠ 注意



火災



感電

下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配置する

マイクロUSBケーブル、マルチ端子接続ケーブル、LANケーブルは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



指示

通電中のACアダプターや製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずして保管してください。火災の原因となることがあります。



スラグをコンセントから抜く

付属品、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

けがの原因となることがあります。



指示

主な仕様

本体

[入/出力端子]

マイクロUSB端子

LAN端子 : 10BASE-T/100BASE-TX/
1000BASE-T (RJ-45)

マルチ端子 :

USB通信 : Hi-Speed USB (USB 2.0)

USB給電/USB充電 : 500 mAまで

[その他]

消費電力 : 約5.1 W

動作温度 : 0 ~ 40 °C

保存温度 : -20 ~ 55 °C

外形寸法(幅×高さ×奥行) (約) :

59.0×40.5×29.8 mm

質量 : 約90 g

ACアダプター

AC-UUD12/UUE12

定格入力 : 100 - 240 V ~,

50/60 Hz、0.2 A

定格出力 : 5 V -,-, 1.5 A

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります
が、ご了承ください。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License (以下「GPL」とします)
または、GNU Lesser General Public License (以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。

<http://oss.sony.net/Products/Linux/>
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、本機の操作画面から確認できます。操作画面のLicenseよりお確かめください。

サイバーショットの最新サポート情報
(製品に関する Q&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど)
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>



ソフトウェアのサポート情報
<http://www.sony.co.jp/support-disoft/>

サイバーショットオフィシャル WEB サイト
<http://www.sony.jp/cyber-shot/>

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル 0120-333-020	フリーダイヤル 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話 050-3754-9577	携帯電話・PHS・一部のIP電話 050-3754-9599
※ 取扱説明書等の購入相談はこちら へお問い合わせください。	

↓ FAX (共通) **0120-333-389**

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「401」+「#」(本機や付属品)

を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

